

質問者	みらい 三浦（茂）議員	答弁者	知 事	項番号	一・一
-----	-------------	-----	-----	-----	-----

三浦茂人議員の一般質問にお答え申し上げます。
 まず、財政運営のうち、今後の利払い費と中期見
 通しであります。

日銀のマイナス金利政策解除や追加利上げ等を受けて、全国的な地方債の利回りや銀行からの県債の借入利率も、マイナス金利の時代と比べると高い水準で推移しており、中長期的に金利水準の上昇が続いた場合には、県財政に大きな影響を与える可能性があるものと考えております。

昨年度公表した財政の中期見通しでは、県債の借入利率等を踏まえ、一定程度の金利上昇を想定しておりますが、長期的に金利情勢を正確に予測し、想定を大きく超えるような利子負担が発生するかどうかを見通すことは困難であります。

しかしながら、現在策定を進めている新たな中期見通しにおいては、更なる金利水準の上昇リスクを想定した将来見通しをお示したうえで、持続的かつ安定的な財政運営を図っていく必要があるものと考えております。

質問者	みらい 三浦（茂）議員	答弁者	知 事	項番号	一・ 2
<p>まることなく、成長戦略として進化させ、その効果</p>	<p>継続が困難になる企業もある中で、企業価値の向上</p>	<p>このため、県では、引き続き大きな投資が期待さ</p>	<p>また、近年は、ホテルやマンション等の建設が進</p>	<p>ており、洋上風力発電や輸送機、IT関連企業の立</p>	<p>次に、県内企業が参画する新たな民間投資であり</p>

質問者	みらい 三浦（茂）議員	答弁者	知 事	項番号	一・ 2
-----	-------------	-----	-----	-----	------

の最大化を図る取組にも注力し、企業の競争力を高めてまいります。

県としましては、中小企業振興条例の趣旨を踏まえ、引き続き、経営力の向上に取り組む意欲的な県内企業を支援するとともに、投資を起点とした経済の好循環につなげることにより、企業の収益や賃金水準の向上を実現し、県税収入の確保に努めてまいります。

質問者	みらい 三浦（茂）議員	答弁者	知 事	項番号	二・一
					<p data-bbox="1944 188 2098 1460">次に、秋田県立病院機構のうち、令和六年度計画であります。</p> <p data-bbox="1003 188 1910 1460">病院機構の六月末までの決算状況によると、本部を含む病院機構全体では計画比二、七〇〇万円増の二億七、六〇〇万円の純利益を計上しており、内訳として循環器・脳脊髄センターは計画比二〇〇万円減の二億六〇〇万円の純利益を、リハビリテーション・精神医療センターは計画比二、五〇〇万円増の一億一、五〇〇万円の純利益を計上しております。</p> <p data-bbox="1003 188 1317 1460">また、有価証券を含む現金預金残高は一億七、〇〇〇万円であり、三月時点より三億六、〇〇〇万円あまり増加していることから、現時点で今年度の収支計画は達成できるものと考えております。</p> <p data-bbox="409 188 974 1460">一方、県の運営費交付金を除く医業収支は、両病院を合わせて一一億円あまりの赤字となっており、純利益の計上は運営費交付金の増額によるところが大きいかことから、引き続き、経営管理会議を通じて財務管理や経営改善策を検討し、病院機構が運営費交付金に過度に依存せず計画を達成できるよう取り組んでまいります。</p>

質問者	みらい 三浦（茂）議員	答弁者	知 事	項番号	二・ 2
<p>県としましては、病院機構が果たすべき役割は依</p>	<p>あります。</p> <p>など、課題解決に向けた取組を進めているところで</p> <p>ことから、秋田市内の急性期病院と意見交換を行う</p> <p>の医療機関との連携や役割分担を進める必要がある</p> <p>増加など、医療情勢の変化を踏まえ、秋田大学や他</p> <p>の疾患があり急性期の手術が適応外となる高齢者の</p> <p>また、県内の循環器医療提供体制の充実や、複数</p>	<p>があるものと考えております。</p>	<p>一方で、循環センターが、引き続き本県の脳血管</p> <p>疾患の救命救急に係る三次医療機能を担っていくた</p> <p>めには、退職や異動により減少した循環器部門の医</p> <p>師確保を進め、高度な医療機器や経験豊富な医療ス</p> <p>タッフなど、充実した環境を十分に活用できる体制</p> <p>を整えることにより、収支改善につなげていく必要</p>	<p>考えております。</p> <p>間、繰越欠損金が生ずることは避けられないものと</p> <p>価償却費が多額であることを考慮すれば、一定の期</p> <p>整備しており、これらの設備投資に係る償還金や減</p>	<p>次に、病院機構の経営上の懸念と今後のあり方で</p> <p>策医療を担うため、新棟の建設や高度な医療機器を</p> <p>あります。</p>

質問者	みらい 三浦（茂）議員	答弁者	知 事	項番号	二・２
-----	-------------	-----	-----	-----	-----

然として大きいものと考えており、循環センターが持てる機能を最大限発揮できるよう、私自ら大学関係者と面談する中で幅広く提案いただくなど、大学側からもセンターの経営立て直しについて、前向きに協議に応じていただいております。

さらに、大学や県医師会など外部有識者の参画を得ながら、将来的な医療ニーズを踏まえた病院機構の中長期的なあり方についても検討してまいります。

質問者	みらい 三浦（茂）議員	答弁者	知 事	項番号	三
<p>あり、災害対応の専門課室として、人員配置にも配</p>	<p>等の見直しや災害対応体制の構築など、市町村が抱</p>	<p>であることから、国が実施している防災スペシャリ</p>	<p>また、近年多発する災害に迅速かつ的確に対応し</p>	<p>今年度は、消防保安室を新たに設置し、消防部門</p>	<p>次に、防災対策であります。</p> <p>県では、平成十四年度に生活環境文化部から総務部に業務を移管し、名称も総合防災課に改め、危機管理を含めた総合的な防災対策の業務を行っております。</p>

質問者	みらい 三浦（茂）議員	答弁者	知 事	項番号	三
-----	-------------	-----	-----	-----	---

慮しながら、本県の危機管理・防災体制の充実・強化を図ってまいります。

質問者	みらい 三浦（茂）議員	答弁者	知 事	項番号	四・ 1
<p>りますが、カルチャー・パスについては、図書以外</p>	<p>は、活字離れが進む若年層に向けた対策が重要とな</p>	<p>を講じております。</p>	<p>読書活動推進の一翼を担う書店の存続には、一定</p>	<p>大賞の実施など、書店団体等と連携した読書活動の</p>	<p>次に、書店団体等と連携した読書活動の推進であ</p>

質問者	みらい 三浦（茂）議員	答弁者	知 事	項番号	四・1
-----	-------------	-----	-----	-----	-----

の購入にも多く利用されるなどの課題も指摘されていることから、これまで一定の成果を上げてきた幼少期からの読書習慣の形成を軸に、若者が親しみやすい電子書籍の利用促進なども視野に入れ、更なる取組の強化を図ってまいりたいと考えております。

なお、文部科学省のモデル構築事業については、読書を通じたまちづくりを目指したものであり、より住民に身近な市町村が実施することが効果的であると考えることから、関係機関が一堂に会する連絡協議会等において、情報提供してまいります。

質問者	みらい 三浦（茂）議員	答弁者	教育長	項番号	四・2
			<p>また、法令に基づき、十二学級以上ある小中学校八五校すべてに司書教諭を配置しているほか、各市町村教育委員会も独自に学校司書を四八名配置し、児童生徒が利用しやすい図書館運営や、一緒に図書委員会等の活動に参加するなど、各学校の実情に応じた読書活動が行われているところでもあります。</p> <p>一方で、全国学力・学習状況調査の結果から、中学校国語の「読むこと」については、全国平均正答率を上回っているものの、内容を解釈し、情報を要約することに課題が見られることや、県学習状況調査の結果から、全体的に読書量が減少傾向であることが明らかになりました。</p> <p>今後、県教育委員会としましては、読書活動の推進を図るため、読書環境の整備など、司書教諭等による関わりを充実させるよう各学校に働き掛けると</p>		<p>三浦茂人議員からご質問のありました、読書活動の推進のうち、児童・生徒の読解力向上についてお答えいたします。</p> <p>県内の各学校においては、「秋田の探究型授業」が広く展開されており、日々の授業の中で様々な文章について深く考えさせる活動や、児童生徒同士の学び合いの充実を図りながら、読解力の向上に努めております。</p>

質問者	みらい 三浦（茂）議員	答弁者	教育長	項番号	四・2
-----	-------------	-----	-----	-----	-----

ともに、検証改善委員会からの提言である「深く考
え、吟味する力を育てる授業の重要性」を踏まえな
がら、教科を越えた授業研究の推進や、学校訪問時
の指導助言等を行うことで、児童生徒の読解力の更
なる向上を図ってまいります。

質問者	みらい 三浦（茂）議員	答弁者	教育長	項番号	五
<p>させるとともに、全県の園長等が参加する協議会の</p>	<p>は、今後とも、施設への訪問指導や教職員研修を充実</p>	<p>は進んでいるものと考えております。</p>	<p>次に、保育事故についてであります。県内の教育・保育施設等における重大な負傷などの事故は、主に遊びを中心とした子どもの主體的な活動の場において発生し、昨年の報告件数は二八件で、このうち骨折が二六件と全体の九割を占めております。各施設では、再発防止に向け、国のガイドラインに基づき、市町村の助言・指導を受けながら、事故発生の要因を分析し、器具の取扱いや職員配置を見直すなどの対策を講じており、県教育委員会では、その状況を指導監査等において確認し、必要に応じて指導を行うなど、再発防止策が確実かつ効果的に実施されるよう取り組んでいるところであります。また、事故の防止と発生後の適切な対応を行うためには、教職員の資質向上が重要であり、管理監督者はもとより、新規採用者からリーダー的役割を担う保育者までの年次研修等において、国のガイドラインも活用しながら安全管理意識の向上に取り組んでおり、各施設におけるガイドラインの理解と活用</p>		

質問者	みらい 三浦（茂）議員	答弁者	教育長	項番号	五
-----	-------------	-----	-----	-----	---

場を通じて教職員の意識向上を図るなど、市町村と連携しながら、教育・保育施設等における保育事故防止に努めてまいります。

質問者	みらい 三浦（茂）議員	答弁者	知 事	項番号	六
<p>失言等により御批判を受けるなど大変に至らぬ点は</p>	<p>います。</p>	<p>てまいります。</p>	<p>また、これまでもハンドブックを毎年度更新し、職員に周知してまいりましたが、意識付けを徹底するため、来月から、各所属のチームごとにグループワークを実施しながら一人ひとりがコンプライアンスについて考える機会を設けるとともに、上司と部下による一対一の面談を制度化し、継続的にコミュニケーションを取ることで、再発の防止を図ってまいります。</p>	<p>六</p>	<p>次に、コンプライアンスであります。</p> <p>今回の事件を受け、直ちに部局長会議を招集し、公務員の矜持を保つよう指示するとともに、全職員に対して綱紀保持について周知・徹底したところであります。</p> <p>まずは、公共事業に携わる職員について、発注事務に関するコンプライアンス研修を行ったところですが、全職員に対して庁内システムを活用したウェブ研修を今月中に実施するほか、事例の共有による意識啓発を継続的に行うとともに、公務員倫理に関する研修についても、全役職の役職段階ごとに行う研修に組み込むことによって、規範意識を浸透させてまいります。</p>

質問者	みらい 三浦（茂）議員	答弁者	知 事	項番号	六
					多々ありますが、業務に関しては公平公正を旨として取り組み、職員に対しても、重ねて話をしてきたところでもあります。
					今後はより一層、公務員としての自覚を促し、私とともに高い倫理観を持って行動するよう、指導してまいります。